

# WAP150およびWAP361の基本的な無線設定

## 目的

無線は、ワイヤレスネットワークを作成するワイヤレスアクセスポイント(WAP)の物理的な部分です。WAPの無線設定は無線の動作を制御し、WAPが送信する無線信号の種類を決定します。この設定は、WAPが他のワイヤレスソースに近接しており、周波数を変更して他のソースに干渉しないようにする必要がある場合に便利です。

この記事では、WAP150およびWAP361の基本的な無線設定を設定する方法について説明します。

## 適用可能なデバイス

- 300シリーズ – WAP361
- 100シリーズ : WAP150

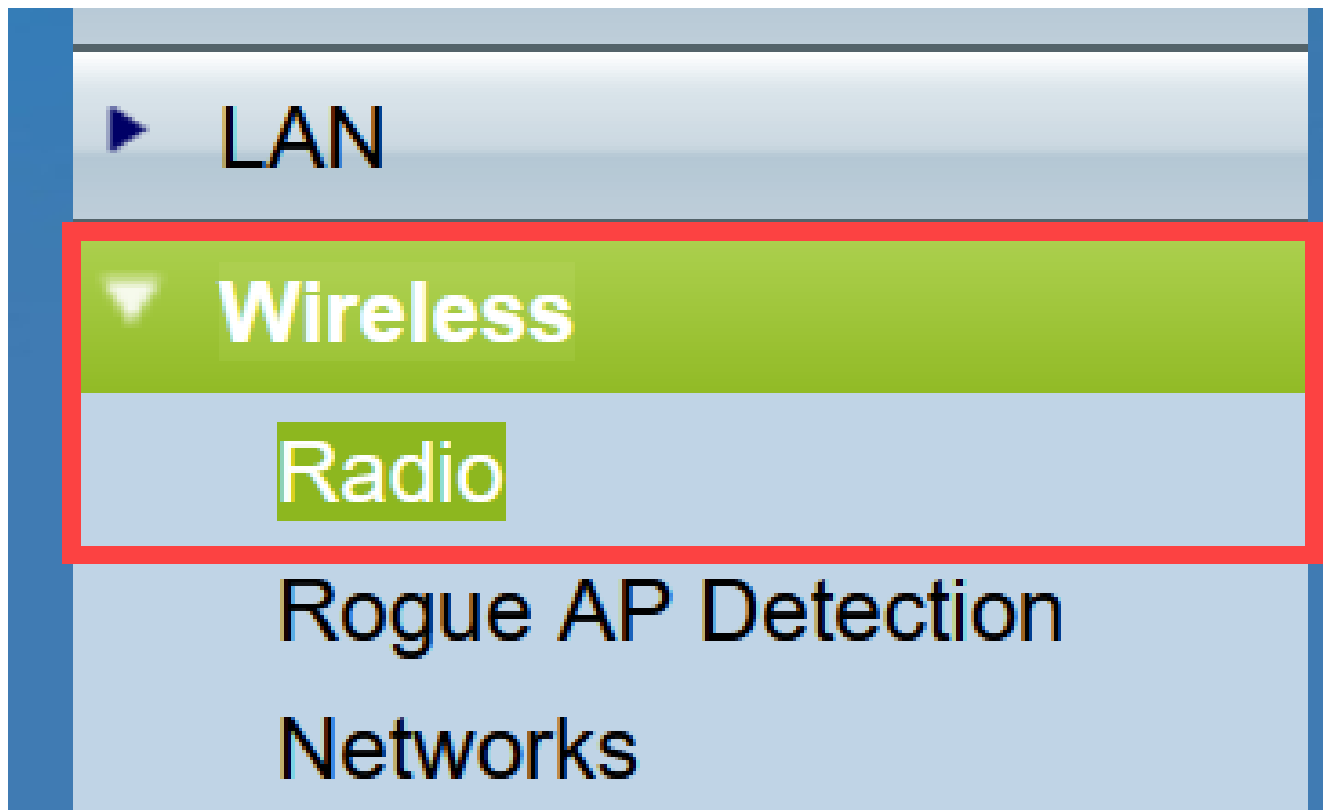
## [Software Version]

- 1.0.0.16 - WAP361
- 1.0.0.14 - WAP150

## 無線の基本設定

### 無線設定の設定

ステップ 1 : Webベースのユーティリティにログインし、Wireless > Radioの順に選択します。



ステップ 2 : TSPEC Violation IntervalフィールドのGlobal settingsで、時間間隔を秒単位で入力します。WAPは、必須のアドミッション制御手順に従っていない関連クライアントを報告するまで待機します。これらのレポートは、システムログとSNMPを介して送信されます。

Radio

**Global Settings**

TSPEC Violation Interval:  Sec (Range: 0 - 900, 0 = Disable, Default: 300)

ステップ3: ( オプション ) ここまでの設定を保存するには、Radioページの下部までスクロールしてSaveをクリックします。

## Radio

**Global Settings**

TSPEC Violation Interval:  Sec (Range: 0 - 900, 0 = Disable, Default: 300)

---

**Radio Setting Per Interface**

Select the radio interface first, and then enter the configuration parameters.

Radio:  Radio 1 (2.4 GHz)  
 Radio 2 (5 GHz)

---

**Basic Settings**

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:44:55:00

Mode:  ▾

Channel Bandwidth:  ▾

Primary Channel:  ▾

Channel:  ▾

---

**Advanced Settings** ▶

### 無線1の設定 (2.4 GHz)

ステップ 1 : Radio Setting per Interface領域で、Radio 1 (2.4 GHz)を選択します。設定する基本設定と詳細設定は、この無線に適用されます。

**Radio Setting Per Interface**

Select the radio interface first, and then enter the configuration parameters.

Radio:  Radio 1 (2.4 GHz)  
 Radio 2 (5 GHz)

ステップ 2 : Basic Settings領域では、無線はデフォルトでEnabledになっています。オフの場合は、Enableチェックボックスにチェックマークを入れます。

注：MAC Addressフィールドには、無線インターフェースのMACアドレスが表示されます。  
。

**Basic Settings**

Radio:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
MAC Address:	80:E8:6F:0C:A7:50
Mode:	802.11b/g/n ▼
Channel Bandwidth:	20 MHz ▼
Primary Channel:	Lower ▼
Channel:	Auto ▼

ステップ 3 : Modeドロップダウンリストから目的の無線モードを選択します。

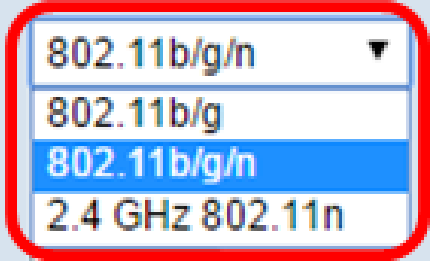
- 802.11b/g - 802.11bおよび802.11gクライアントはWAPに接続できます。
- 802.11b/g/n ( デフォルト ) :2.4 GHz周波数で動作する802.11b、802.11g、および802.11nクライアントは、WAPに接続できます。

2.4 GHz 802.11n:2.4 GHzの周波数で動作する802.11nクライアントだけがWAPに接続できます。

## Basic Settings

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:0C:A7:50

Mode: 

Channel Bandwidth:

Primary Channel: Lower ▼

Channel: Auto ▼

注：802.11nは、40 MHz幅のチャネルを使用できる唯一の仕様です。ステップ4と5は、ステップ3で802.11nをサポートする無線モードを選択した場合にのみ適用されます。

ステップ4：Channel Bandwidthドロップダウンリストから、無線のチャネル帯域幅を選択します。ドロップダウンリストには、20 MHzと20/40 MHzの2種類の帯域幅があります。デフォルトは20 MHzです。

Timesaver:20 MHzを選択する場合は、ステップ6に進みます。

**Basic Settings**

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:0C:A7:50

Mode: 802.11b/g/n ▼

Channel Bandwidth: 20 MHz ▼

Primary Channel: 20 MHz

Channel: 20/40 MHz

Channel: Auto ▼

---

**Advanced Settings** ▶

Save

ステップ 5 : Channel ドロップダウンリストから、無線が送受信に使用する無線スペクトルの部分を選択します。

注 : auto を選択すると、WAP は使用可能なチャンネルをスキャンし、最もトラフィックが少ないチャンネルを選択します。また、[自動] を選択すると、プライマリチャンネルを選択できません。auto を選択している場合は、[ステップ 7](#) に進んでください。

## Basic Settings

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:0C:A7:50

Mode: 802.11b/g/n ▼

Channel Bandwidth: 20 MHz ▼

Primary Channel: Lower ▼

Channel: Auto ▼

Auto

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

Advanced Settings ▶

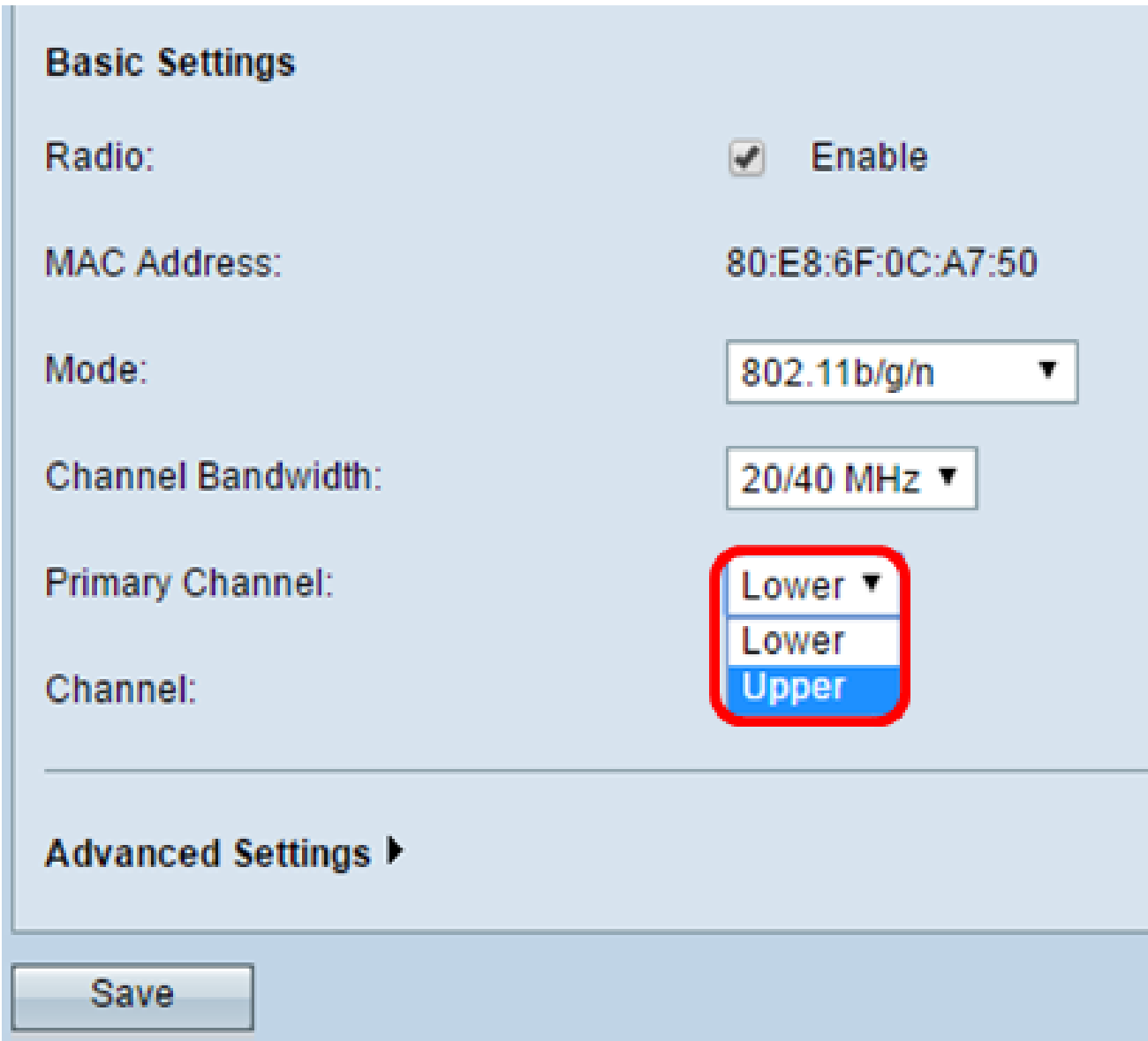
Save

手順 6 : Primary Channel ドロップダウンリストから、プライマリとして設定するチャンネルを選択します。プライマリチャンネルは、完全な 40 MHz チャンネル帯域幅ではなく、20 MHz チャンネル帯域幅のみをサポートするデバイスに使用されます。デフォルトは lower です。

注：使用可能なチャンネルの範囲は、無線インターフェースのモードと国コードの設定によって決まります。チャンネル設定にAutoを選択すると、WAPは使用可能なチャンネルをスキャンし、トラフィック量が最も少ないチャンネルを選択します。

各モードでは、連邦通信委員会(FCC)や国際電気通信連合(ITU-R)などの国および国境を越えた当局によってスペクトルのライセンスがどのように付与されているかによって、多数のチャンネルが提供されます。

- Upper：プライマリチャンネルを40 MHz帯域の上位20 MHzチャンネルとして設定します。
- Lower：プライマリチャンネルを40 MHz帯域の下位20 MHzチャンネルとして設定します。  
。 [下]が既定の選択です。



**Basic Settings**

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:0C:A7:50

Mode: 802.11b/g/n ▼

Channel Bandwidth: 20/40 MHz ▼

Primary Channel: Lower ▼  
Lower  
Upper

Channel:

---

**Advanced Settings** ▶

Save

手順 7： [Save] をクリックして、設定を保存します。



### Radio

**Global Settings**

TSPEC Violation Interval:  Sec (Range: 0 - 900, 0 = Disable, Default: 300)

---

**Radio Setting Per Interface**

Select the radio interface first, and then enter the configuration parameters.

Radio:  Radio 1 (2.4 GHz)  
 Radio 2 (5 GHz)

---

**Basic Settings**

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:0C:A7:50

Mode:

Channel Bandwidth:

Primary Channel:

Channel:

---

**Advanced Settings** ▶

これで、無線1(2.4 GHz)の基本的な無線設定が正常に設定されました。

無線2(5 GHz)の設定

ステップ 1 : Radio Setting per Interface領域で、Radio 2 (5GHz)を選択します。

### Radio Setting Per Interface

Select the radio interface first, and then enter the configuration parameters.

Radio:  Radio 1 (2.4 GHz)  
 Radio 2 (5 GHz)

ステップ 2 : Basic Settings領域では、Enableチェックボックスはデフォルトでオンになっ

ています。オフの場合は、enableチェックボックスをオンにして有効にします。

注：MAC Addressフィールドには、無線インターフェイスのMACアドレスが表示されます。

**Basic Settings**

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:0C:A7:58

Mode: 802.11a/n/ac ▼

Channel Bandwidth: 20/40 MHz ▼

Primary Channel: Lower ▼

Channel: 44 ▼

---

**Advanced Settings ▶**

**Save**

ステップ 3：Modeドロップダウンリストから目的の無線モードを選択します。

- 802.11a:802.11aクライアントだけがWAPデバイスに接続できます。
- 802.11a/n/ac ( デフォルト、推奨 ) :5 GHz周波数で動作する802.11aクライアント、802.11n、および802.11acクライアントは、WAPデバイスに接続できます。
- 802.11n/ac:5 GHz周波数で動作する802.11nクライアントと802.11acクライアントは、WAPデバイスに接続できます。

**Basic Settings**

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:0C:A7:58

Mode: **802.11a/n/ac ▼**  
802.11a  
**802.11a/n/ac**  
802.11n/ac

Channel Bandwidth: Lower ▼

Primary Channel: Auto ▼

Channel: Auto ▼

---

**Advanced Settings ▶**

**Save**

注：802.11nは、40 MHz幅のチャンネルを使用できる唯一の仕様です。ステップ4と5は、ステップ3で802.11nをサポートする無線モードを選択した場合にのみ適用されます。

ステップ4：Channel Bandwidthドロップダウンリストから、無線のチャンネル帯域幅を選択します。ドロップダウンリストには、20 MHzと20/40 MHzの2種類の帯域幅があります。デフォルトは20 MHzです。

Timesaver:20 MHzを選択した場合は、ステップ6に進みます。

注：802.11ac仕様では、20 MHzおよび40 MHzチャンネルに加えて、80 MHz幅のチャンネルが可能です。チャンネル帯域幅の使用を20 MHzチャンネルに制限するには、このフィールドを20 MHzに設定します。802.11acモードの場合は、無線が80 MHzチャンネル帯域幅を使用しないように、フィールドを40 MHzに設定します。

### Basic Settings

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:0C:A7:58

Mode: 802.11a/n/ac ▼

Channel Bandwidth: 80 MHz ▼

Primary Channel: 20 MHz

Channel: 20/40 MHz

Channel: 80 MHz

Channel: Auto ▼

ステップ 5 : Channelドロップダウンリストから、無線が送受信に使用する無線スペクトルの部分を選択します。

注 : autoを選択すると、WAPは使用可能なチャンネルをスキャンし、最もトラフィックが少ないチャンネルを選択します。また、[自動]を選択すると、プライマリチャンネルを選択できません。

Primary Channel: Lower ▼

Channel: Auto ▼

Auto

36

40

44

48

52

56

60

64

100

104

108

112

Advanced Settings ▶

Save

手順 6 : Primary Channel ドロップダウンリストから、プライマリとして設定するチャンネルを選択します。プライマリチャンネルは、完全な 40 MHz チャンネル帯域幅ではなく、20 MHz チャンネル帯域幅のみをサポートするデバイスに使用されます。デフォルトは lower です。

注 : 使用可能なチャンネルの範囲は、無線インターフェイスのモードと国コードの設定によって決まります。チャンネル設定に Auto を選択すると、WAP は使用可能なチャンネルをスキャンし、トラフィック量が最も少ないチャンネルを選択します。

各モードでは、連邦通信委員会(FCC)や国際電気通信連合(ITU-R)などの国および国境を越えた当局によってスペクトルのライセンスがどのように付与されているかによって、多数のチャンネルが提供されます。

- Upper : プライマリチャンネルを 40 MHz 帯域の上位 20 MHz チャンネルとして設定します。
- Lower : プライマリチャンネルを 40 MHz 帯域の下位 20 MHz チャンネルとして設定します。  
。 [下] が既定の選択です。

Channel Bandwidth: 20/40 MHz ▼

Primary Channel: Lower ▼

Channel: Lower  
Upper

---

Advanced Settings ▶

Save

手順 7 : [Save] をクリックします。

## Basic Settings

Radio:  Enable

MAC Address: 80:E8:6F:0C:A7:58

Mode: 802.11a/n/ac ▼

Channel Bandwidth: 80 MHz ▼

Primary Channel: Lower ▼

Channel: Auto ▼

Advanced Settings ▶

Save

これで、無線2(5 Ghz)の基本的な無線設定が正常に設定されました

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。